



◇ 「花粉飛散予測の動態に関する調査研究」について検討委員会を開催

当センターが請負業務として取り組んでいる花粉飛散予測の動態に関する調査研究について、環境省からの委託を受けた特定非営利活動法人花粉情報協会の協力の下、8月20日に平成25年度第1回検討委員会を開催しました。検討会では2013年春の花粉飛散予測結果について評価を行うとともに、予測精度を高めるための検討を行いました。

現在の予測手法は「統計的予測」を用いています。具体的には過去の花粉飛散データの実況値とその原因となる気象要素等について関連性を解析し、更に全国のスギ雄花花芽調査結果を反映させて予測しています。この他に、気象庁のアンサンブル予報を取り入れた「物理的予測」手法の確立についても検証を行い、花粉飛散量の定量的な解析を目指して調査研究を行っています。また、花粉症に関する新しい科学的知見や関連情報をご紹介するために作成されている「花粉症環境保健マニュアル」は、来年の花粉シーズン前改訂を予定しています。

(気象業務支援センター 振興部)